

(款) 10総務費 (項) 5総務管理費 (目) 5一般管理費

◎給与一般の経費

給与管理事務

【

職員課

】

【総合計画上の位置づけ】

計画の前提

行財政運営:地方分権社会に対応した持続可能な行財政基盤の確立と効果的な都市経営をめざします

【事業の目的】

対象 市職員

意図 市職員に給与等を支給するため。

効果 職員給与等の適切な執行を行う。

【事業の内容】

(1) 給与管理事務

- ・鎌倉市職員の給与に関する条例等に基づき給与を支給した。

(2) 普通旅費

- ・鎌倉市旅費支給条例等に基づき旅費を支給した。

(3) 臨時的任用職員賃金

- ・鎌倉市職員の任用に関する条例等に基づき臨時的任用職員に賃金を支給した。

(4) 非常勤職員報酬等

- ・鎌倉市非常勤特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例等に基づき非常勤職員に報酬等を支給した。
- ・保健師の育休職員の代替として人材派遣を活用した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
115,689	116,789	105,696		11,093
主な支出内訳				
・給与管理事務				
給与管理用消耗品費				105
給与支給関係用紙等印刷製本費				366
・普通旅費				
職員用普通旅費				11,141
・臨時的任用職員賃金				
臨時的任用職員賃金				23,549
・非常勤職員報酬等				
非常勤嘱託員報酬 60人				57,222
非常勤嘱託員旅費				2,819
産休代替業務派遣保健師委託料				10,410

事務事業評価シート

事務事業 No./名 称	☐ サービス部門 総務-14 給与管理事務 ☒ 支 援 部 門								
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	500 給与管理事務							
		502 普通旅費							
		503 臨時的任用職員賃金							
		504 非常勤嘱託員報酬							
主管課	職員課		関連課						
分野名	行財政運営								
目標 (目標値)	職務段階に応じた給与体系の構築。実績や成果が反映される給与制度への移行。								
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考				
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日				
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯					
	対象者	2,281人	2,509人	2,209人					
運営資源 状 況	決算値	554千円	1,674千円	815千円	502から504事業は集中執行であるため、算入しない。				
	(国・県)								
	(負担金等)								
	(一般財源)	554千円	1,674千円	815千円					
	人員配置数	4.3人	4.3人	4.3人					
	人 件 費	40,297千円	42,608千円	41,739千円					
	協 働 の パートナー								
事務事業 運営経費	総事業費	40,851千円	44,282千円	42,554千円	対象者 2281人＝(再任用、非常勤、臨時的任用職員を含む。)				
	市民1人当りの経費	231円	252円	243円					
	対象者1人当りの経費	17,909円	17,649円	19,264円					
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価									
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)			
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(23年度)		
ラスパイレス指数の引き下げ	×	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
		実績値	102.0	102.4					
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)									
団体名	横浜市	川崎市	横須賀市	平塚市	鎌倉市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市
ラスパイレス指数	103.6	102.3	103.1	102.0	102.4	103.6	100.5	100.9	101.3
平均年齢	42.8	42.5	44.4	41.3	45.8	43.4	42.1	41.8	46.0
平均給料月額(百円)	3543	3469	3682	3431	3742	3597	3408	3373	3675
団体名	相模原市	三浦市	秦野市	厚木市	大和市	伊勢原市	海老名市	座間市	南足柄市
ラスパイレス指数	101.8	99.1	100.1	100.9	101.9	99.5	100.0	100.0	102.9
平均年齢	44.6	42.9	43.8	41.2	45.4	46.5	43.3	45.6	46.3
平均給料月額(百円)	3641	3374	3514	3348	3694	3741	3503	3654	3832

事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 1 給与構造改革の着実な実施(平成22年度完成) 2 非正規職員の処遇の見直し
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・平成18年度から5年掛けて逐次行っていく給与構造改革について、国の制度改正に合わせた対応を図るとともに、非正規職員の処遇について、最低賃金制度などの動向、他市の状況及び本市の現状等を勘案し、見直しを行った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・なし
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・給与構造改革の項目の一つである勤務実績の昇給・勤勉手当への反映について準備を進めるとともに、国や他団体との均衡を踏まえ、給与の適正化を図っていきたい。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 有
	定数削減に伴い、非正規職員の人材活用を図っていく中で引き続き処遇の見直しを図っていくとともに、正規職員については限られた人件費の中で職務や職責、実績に応じた給与制度としていく必要がある。		
担当課長氏名:		職員課長 松永 健一	

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 有
	勤務実績を的確に反映する給与制度としていく必要がある。		
担当部名	総務部	部長名	兵藤 芳朗